



ひだのたくみ
飛驒匠のDNAを受け継ぐものづくりのまち
メイド・バイ飛驒高山認証



市では、飛驒高山ブランドコンセプトに合致する独自性と信頼性の高い地場産品を「メイド・バイ飛驒高山認証産品」に認証しています。ものづくりの匠たちの熱い想いに触れてください。

飛驒高山ブランドコンセプト

「飛驒高山の風土と飛驒人の暮らしが生み出す本物 それが飛驒高山ブランド」

No.6 飛驒高山の酒
高山蔵元会

やわらかい飲み口、キリッとした味わいが愛される飛驒高山の地酒。

その歴史は大変古く、1500年代から酒造りが行われていたと言われており、1697年には、市内に56軒の造り酒屋があった記録が残っています。

旦那衆と呼ばれる豪商たちが、備蓄米・余剰米をお酒に変え、米価を安定させることで、農家をはじめ市内の経済は豊かになり、祭屋台や神社仏閣、まちなみが整備されていきました。

飛驒山脈から流れる伏流水を用い飛驒高山の厳しい寒さの中、醸造する寒仕込みのお酒は、その旨さを最大限引き出すことができ、飲み口がやわらかく深みのある味わいに仕上がります。

飛驒高山の地酒には、確かな味と品質管理が求められます。

そう語るのには、高山蔵元会の平瀬市兵衛会長。高山蔵元会では、それぞれの蔵に伝わる技法で味を守り、酒を造り続けています。

国際観光都市となった飛驒高山には、さまざまな国の人が行き交うようになり、酒蔵にも多くの人が訪れるようになりました。

訪れた土地の歴史・文化を学び、その土地ならではの郷土食・土産を求める外国人観光客にも、本物の日本酒の味を知っていただきたい。

また、欧米の食文化が流入する中、日本人にも日本酒と和食の良さを再認識してほしいと言います。

「食」という字は「人が良くなる」と書きます。「人が良くなる事」が食事です。日本の食卓を彩ってきた和食と日本酒を見つめなおしてほしい。

消費者に本物を届けたいと、飛驒高山ブランドを追求する平瀬さんの酒蔵には、日本酒の芳醇な香りが満ちていました。



広報
市長だより

95

聖火リレーを
歴史的行事に

高山市長 **國島芳明**

令和2年が幕を開け、待ち焦がれたオリンピッククイヤーとなりました。

昨年12月17日には、4月4日に高山市を通過する聖火リレーの詳細ルートが発表されました。また、翌18日には、聖火リレーの啓発などについて連携協定を締結しているコカ・コーラボトラーズジャパン株式会社より、PR用のピンバッジを寄贈していただきました。今後、聖火リレーの機運盛り上げに活用させていただきます。

さて、聖火リレーのルートにつきましては、本紙でご紹介した通り、高山陣屋を出発し、古い町並や広小路通りなど、歴史文化が薫るまちなみを通り、新たな飛驒の玄関口である高山駅西交流広場を目指すルートが選定されました。

「平和・団結・友愛」といったオリンピックを象徴する聖火を、市民の皆様と盛大に迎え、市民9万人の想いを乗せて聖火台へと繋いでいけるよう、将来にわたって語り継がれる歴史的行事にしたいと考えております。4月4日は、沿道や会場にお集まりいただき、歴史の証人になりませんか。



市長室へ
ようこそ

●市民と市長の面談日



1月27日(月)

午前9時～11時45分

※事前にご予約ください

市長室直通FAXもご利用ください
FAX●36-2060

問合せ先 秘書課 ☎35-3130

ケーブルテレビの番組「ハイ、市役所です」はインターネットでもご覧いただけます。
市ホームページ「行政情報」の動画コーナー

高山市公式YouTubeチャンネル

編集・発行／高山市総務部広報情報課
〒506-8555 岐阜県高山市花岡町2丁目18番地
TEL／0577-32-3333(代)
FAX／0577-32-7000 (市長室直通)
FAX／0577-35-3174 (広報情報課直通)

E-mail／kouhou@city.takayama.lg.jp
HP／http://www.city.takayama.lg.jp/
携帯用HP／http://mobile.city.takayama.lg.jp/
防災行政無線の内容は電話でも確認できます
☎0180-995-690

印刷／高山印刷株式会社

